

社会資本総合整備計画														事後評価書		
計画の名称	第 7 9 回国民スポーツ大会開催に向けた競技会場施設整備【重点】															
計画の期間	令和 0 3 年度 ~ 令和 0 5 年度 (3年間)												重点配分対象の該当		○	
交付対象	大津市															
計画の目標	大石緑地および皇子山総合運動公園においては、令和 7 年度に開催される第 7 9 回国民スポーツ大会の競技会場に内定したことを踏まえ、大会の施設基準を充たした施設改修等することで、円滑な大会運営ができるようになり、また、公園利用者の利便性の向上及び安全・安心の確保を図る。															
全体事業費（百万円）		合計（ A + B + C + D ）		866	A	866	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R元当初)	—	(R6末)
1	大石緑地（テニスコート）の利用件数を 5 % 増加。			
	大石緑地（テニスコート）の利用件数を測定する。 当初現況値（R元年度利用件数）、最終目標値（R6年度利用件数）	7471件	件	7845件
2	皇子山総合運動公園（野球場、陸上競技場）の利用件数を 5 % 増加。			
	皇子山総合運動公園（野球場、陸上競技場）の利用件数を測定する。 当初現況値（R元年度利用件数）、最終目標値（R6年度利用件数）	5183件	件	5443件

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	大津市	直接	大津市	-	-	都市公園事業（大石緑地）	テニスコートの人工芝張替え、コート増設、トイレ改修等	大津市	■	■	■			617	1.11	-
	A12-002	公園	一般	大津市	直接	大津市	-	-	都市公園事業（皇子山総合運動公園野球場、陸上競技場）	スコアボードの改修、天然芝改修、トイレ改修等	大津市	■	■	■			249		-
		R2より防安から切り出し																	
											小計						866		
												合計						866	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業終了後、担当部署において評価	令和7年7月
	公表の方法
	大津市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・大石緑地においては、テニスコートの利用件数が減少したものの、全面改修と面数を20面から24面に増設したことで、1件あたりの利用人数が増加するとともに、利用料金収入は増加した。 ・皇子山総合運動公園は利用件数及び利用料金収入が増加しており、その要因の一つとして、トイレ改修等を実施したことによる利用者の利便性向上が挙げられる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・大石緑地においては、国民スポーツ大会のテニス競技会場として、競技団体より示された運営が実現できるよう、テニスコートを20面から24面に増設するとともに、四阿の新築やフェンスの設置など利用環境を整備した。 ・皇子山総合運動公園においては、国民スポーツ大会の硬式野球及びサッカーの競技会場として環境を整えるため、野球場のスコアボードをフルカラー表示可能な全画面LEDへ改修し、球速や投球数、テレビ映像の放映にも対応するとともに、陸上競技場においては、トイレをバリアフリー化し、施設の機能向上と観客も含め様々な人が利用しやすい環境を整えた。

○特記事項（今後の方針等）

令和6年度に実施した「わたSHIGA輝く国スポ大津市競技別リハーサル大会」においては、整備した施設を活用することで、円滑な大会運営をすることができた。令和7年度開催の国民スポーツ大会においても、今回整備した施設を最大限に活用し、無事成功に終わられるよう努めるとともに、大会終了後もレガシーとして引き続き利活用を推進する。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	大石緑地（テニスコート）の利用件数		
	最 終 目標値	7845件	利用件数は大きく減少したが、利用料金収入は増加しており、1件あたりの利用コート数や時間数の増加傾向がみられることから、利便性向上や利用促進に寄与している。
	最 終 実績値	3327件	
2	皇子山総合運動公園（野球場、陸上競技場）の利用件数		
	最 終 目標値	5443件	施設の利便性向上により、特に陸上競技場の利用件数が大きく増加した。
	最 終 実績値	12834件	